



2024年1月期 第2四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社
東証プライム(証券コード:1433)

決算のポイント

売上高

3,328百万円

- ・売上高は、対前年795百万円(31.4%)増
- ・大型の進行基準工事の進捗により、増収
- ・第2四半期会計期間(1,791百万円)、第2四半期累計期間(3,328百万円)ともに過去最高売上

営業利益

▲61百万円

- ・営業利益は、一部の低利益率工事の影響、積極的な人材採用への投資により、対前年119百万円減
- ・売上総利益率は、14.1%(前年同期20.2%)

受注残高

8,960百万円

- ・受注残高は、電力・製鉄・石油業界で大型工事の受注があり、対前年7,098百万円(381.2%)増
- ・受注工事高は、8,822百万円を記録
対前年6,130百万円(227.8%)増の過去最高額

業績予想の修正

- ・先行して進捗している低利益率工事の影響、工事受注量が増大する過程で発生した赤字工事の影響により、業績予想を修正

トピックス

- ・オダコーポレーション(株)の子会社化について
- ・「みらい事業部」の立ち上げについて

トピックス① オダコーポレーション(株)の子会社化について

オダコーポレーション(株)・(株)TOKENは、岡山県倉敷市を拠点とし、各種プラントの建設及びメンテナンス工事と躯体工事を主力事業としております。互いの事業リソースを組み合わせてすることで、両社の発展並びに企業価値向上を目指します。



- ・ 定期点検修理工事
- ・ 静機械の開放、点検、整備
- ・ 機器の据付、撤去、解体工事

プラント

- ・ 転倒工法等の特許解体工法
- ・ 無火気工法等のノウハウ
- ・ 各種プラント解体実績

- ・ 施工管理者の派遣
- ・ 多能工教育

人材

- ・ 設計、IT技術者、施工管理等の派遣実績

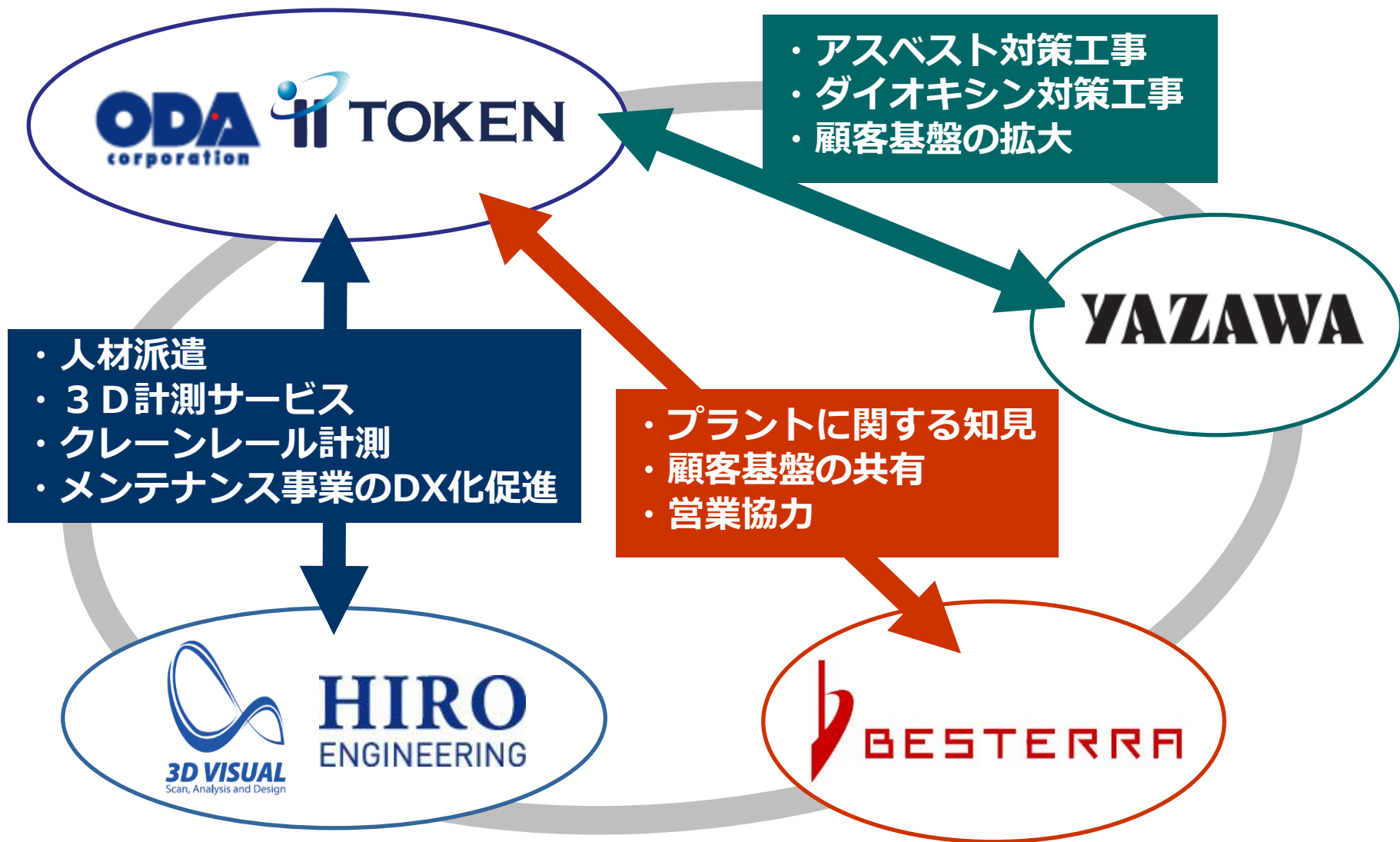
- ・ 建設事業
- ・ ビル、マンション大規模修繕事業
- ・ ユニットハウスリース、
運送事業

その他

- ・ アスベスト対策工事
- ・ 土壌汚染対策工事
- ・ 3Dレーザー計測、モデリング
- ・ クレーン計測ロボット、AUSE

サービス拡充による受注規模の拡大、
オダコーポレーション(株)の営業網の取り込み／拡充・強化

参考：ベストセラグループとの事業シナジーについて



トピックス②「みらい事業部」の立ち上げについて

中高生向けのキャリア教育支援やイベントの企画運営を行っている(株)Unpackedとパートナーシップを提携いたしました。PR戦略、SDGs施策など企業が求める課題について探究する機会を中高生に提供し、ともに課題解決に取り組んでまいります。

Unpacked



社名	株式会社 Unpacked
事業内容	大規模キャリアイベントの企画運営 企業向け若年層マーケティング調査 新規事業・新商品開発支援 プロジェクトマネジメント補助
所在地	東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15F
資本金	6,104,025円
代表	小嶋 隼史
設立	2020年12月24日



LP(ランディングページ) : <https://besterra-mirai.com>

「みらい事業部」活動の様子



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

損益計算書: 第2四半期(2024年1月期)

売上高は、工事の順調な進捗および工事受注量の増加により、前年同期比31.4%の増収となりました。営業利益は、一部の低利益率工事の影響、積極的な採用費への投資により、前年同期より119百万円減少しております。

単位: 百万円

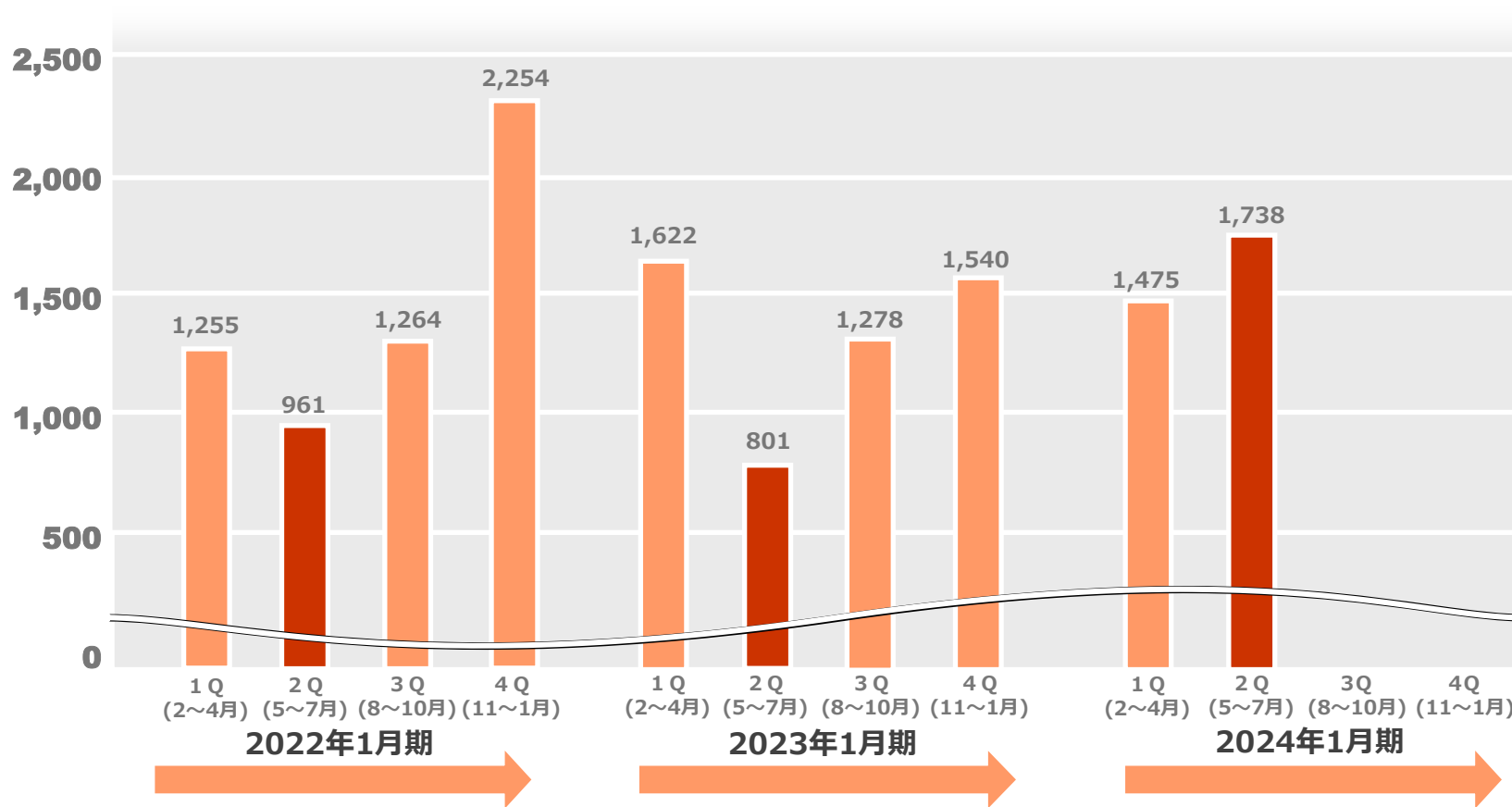
	2024年1月期 第2四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	3,328	—	2,533	795	31.4%
(脱炭素解体ソリューション)	(3,148)	—	—	—	—
(DXプラントソリューション)	(180)	—	—	—	—
売上総利益	470	14.1%	512	▲42	▲8.3%
販売費及び 一般管理費	531	16.0%	454	77	17.0%
営業利益	▲61	—	58	▲119	—
経常利益	▲9	—	128	▲137	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲28	—	59	▲88	—

完成工事高の推移について

第2四半期会計期間は、例年、完成工事高が少ない傾向にありますが、今期は大型の進行基準工事の進捗を背景に、完成工事高が順調に積み上がっております。

完成工事高

単位: 百万円



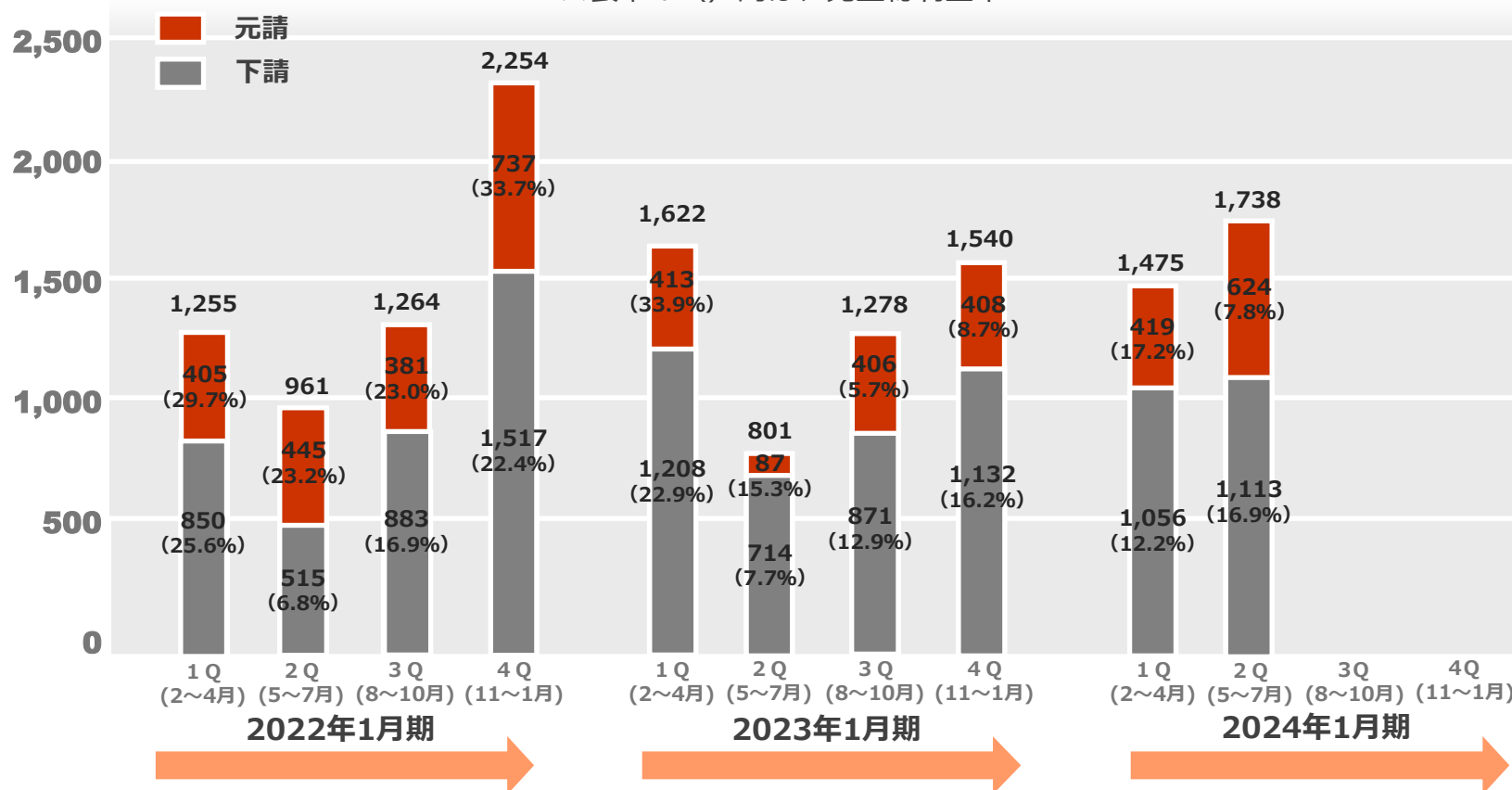
完成工事高に占める元請案件の推移

元請工事の比率が高くなっておりますが、先行して進捗している大型元請工事において、受注時の営業施策上の理由により利益率が低くなっており、売上総利益率は例年よりも低下しております。

完成工事高

単位: 百万円

※表中の () 内は、売上総利益率



販売費及び一般管理費：第2四半期（2024年1月期）

販管費は、中期経営計画に基づき積極的に人材採用への投資を進めた結果、人件費や採用費が増加しました。採用活動は極めて順調に進んでおります。

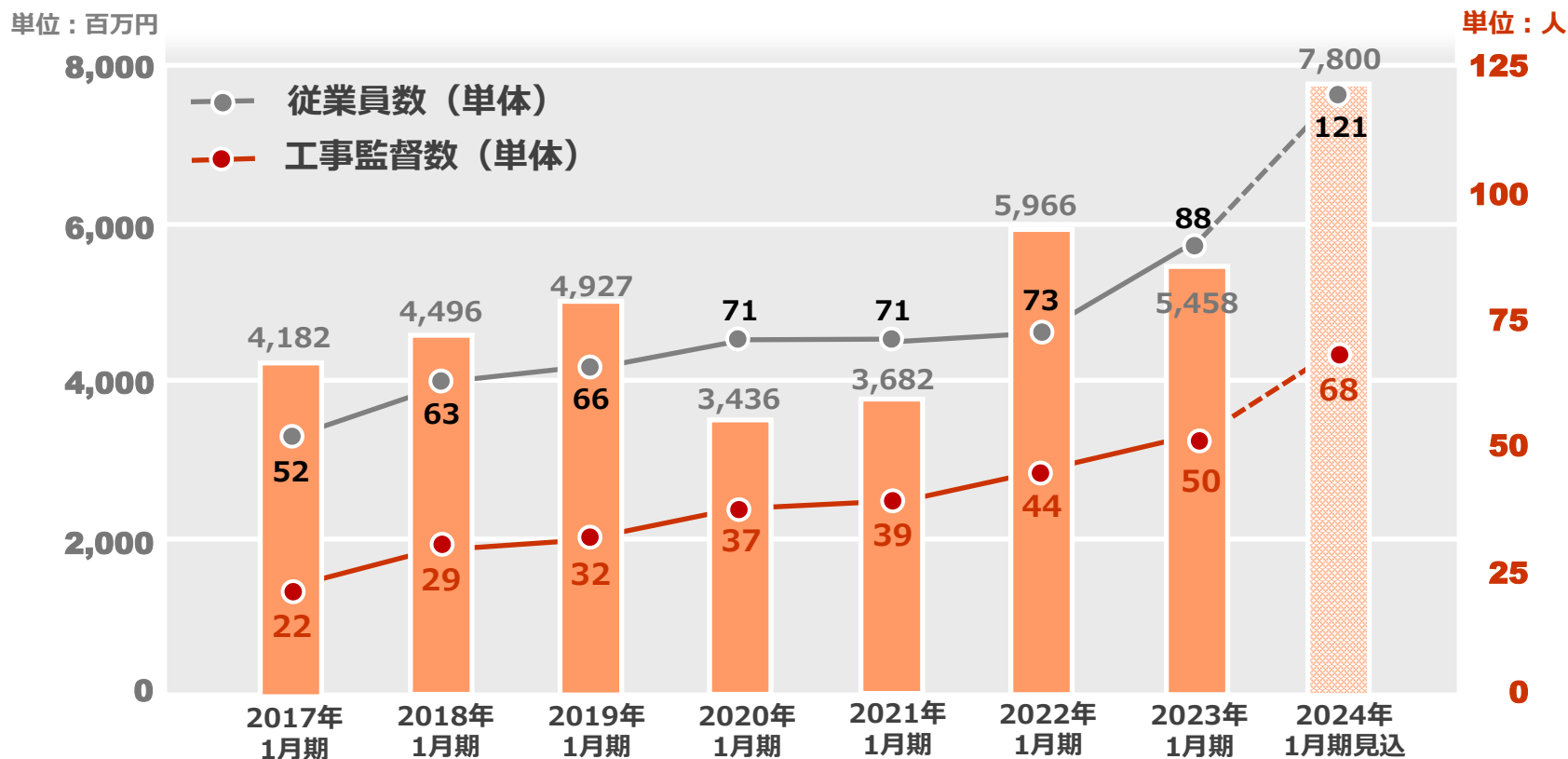
単位：百万円

	2024年1月期 第2四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	298	235	63	26.9%	人員増
支払手数料 支払報酬	50	38	11	29.5%	営業協力費用
採用費	29	9	20	216.9%	広告媒体、紹介手数料等
広告宣伝費	19	17	1	10.5%	展示会出展
その他	133	152	▲19	▲12.7%	
合計	531	454	77	17.0%	

人員計画の進捗

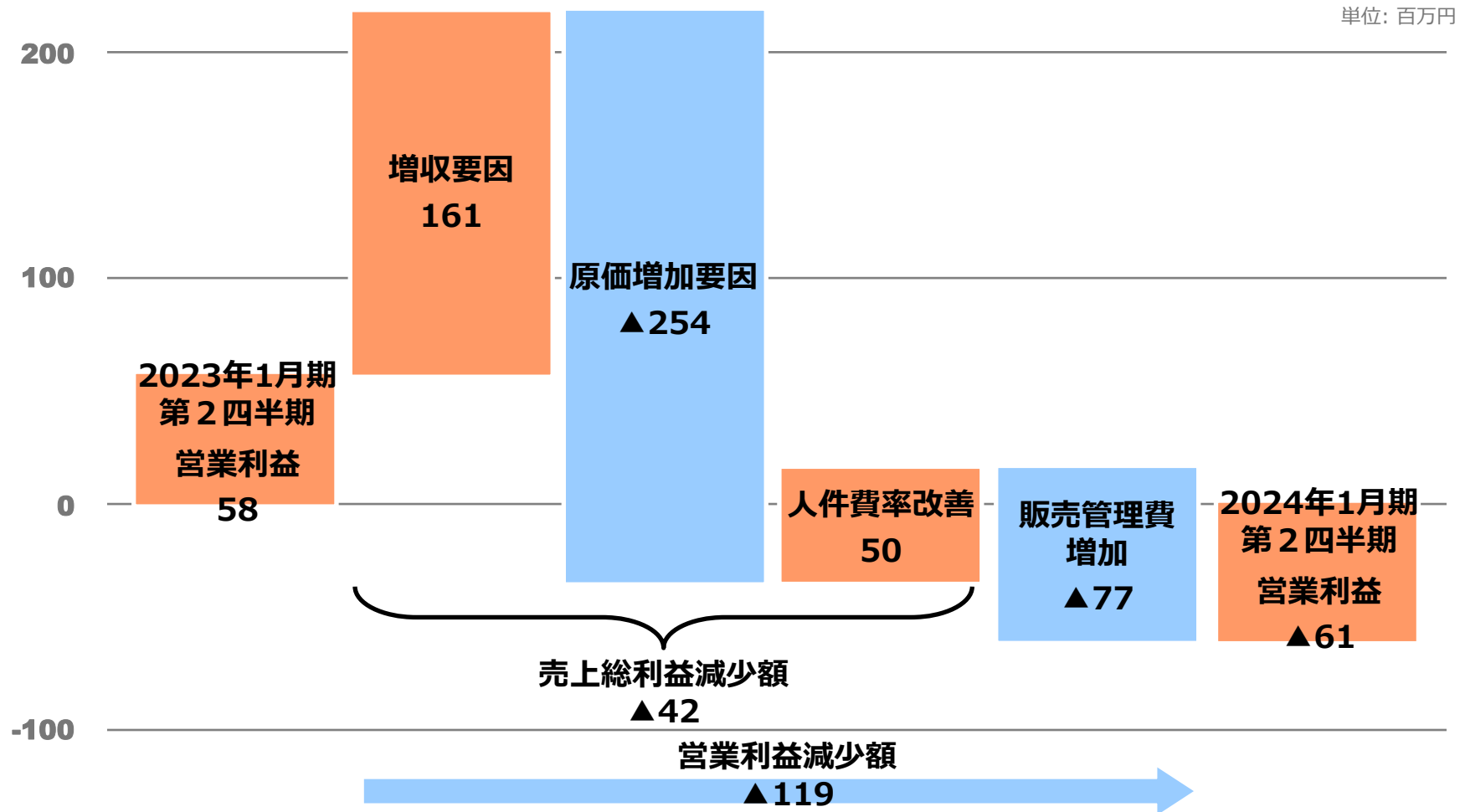
積極的な採用活動により、工事監督者の採用は順調に進んでおります。
発表日現在、工事監督数は、期首から11名純増の61名となっております。

売上高と人員数



営業利益の増減要因分析：第2四半期（2024年1月期）

工事は順調に進捗しているものの、一部の低利益率工事の影響および人材採用への投資に伴う販管費の増加により、営業利益は減益となっております。



貸借対照表：第2四半期(2024年1月期)

単位：百万円

	2024年1月期 第2四半期	前連結会計年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	4,324	3,568	756	工事件数増加に伴う売掛債権の増加によるもの
(うち現金預金)	(1,565)	(1,337)	(227)	
固定資産	4,307	4,859	▲551	投資有価証券の評価替えによるもの
流動負債	2,833	1,865	967	短期借入金の増加によるもの
固定負債	1,909	2,183	▲273	長期借入金の返済、繰延税金負債の減少によるもの
純資産	3,889	4,379	▲489	投資有価証券の評価替えによるもの
総資産	8,632	8,427	204	
自己資本比率	45.0%	51.8%	—	
1株当たり純資産	438円	493円	—	

受注状況：第2四半期（2024年1月期）

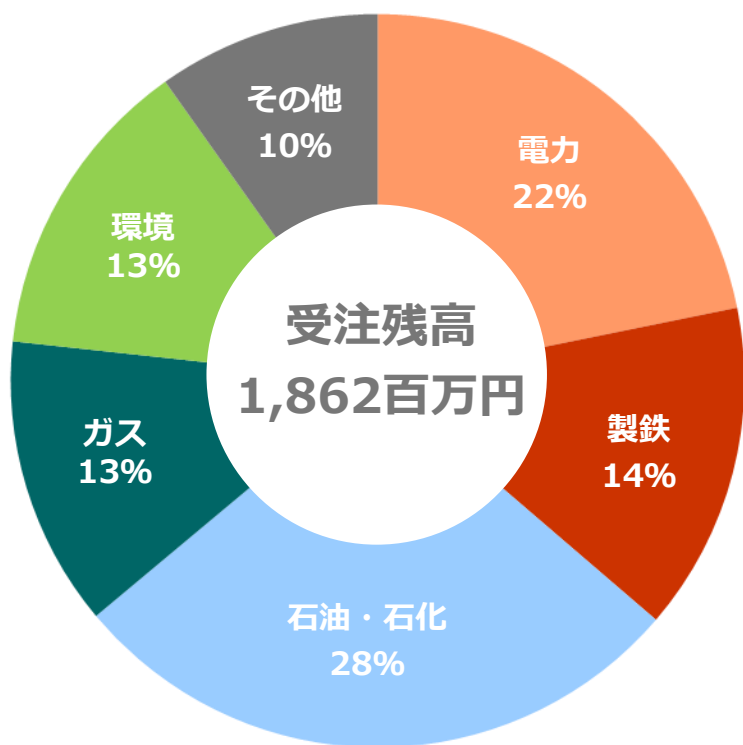
大型工事の受注により、受注工事高は前年同期比6,130百万円（227.8%）増、受注残高は前年同期比7,098百万円（381.2%）増で推移しており、引き合いの状況は極めて良好であります。

単位：百万円

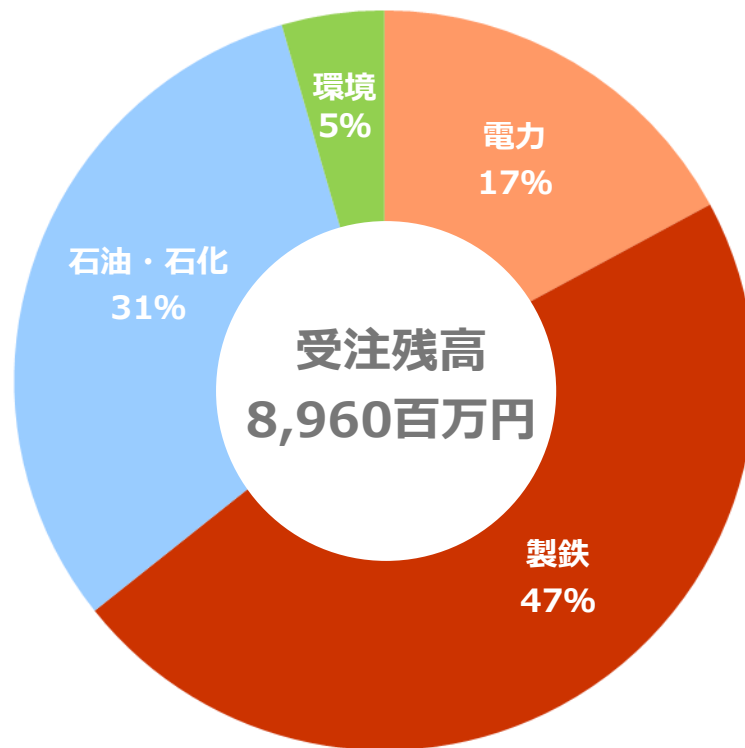
	2024年1月期 第2四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	3,352	1,594	1,757	110.3%
受注工事高	8,822	2,691	6,130	227.8%
完成工事高	3,213	2,423	790	32.6%
期末繰越工事高 (受注残高)	8,960	1,862	7,098	381.2%

業界別 受注残高構成比率

製鉄業界での大型工事の受注に加え、電力および石油・石油化学業界でも大型元請工事の受注があり、受注残高に占める比率が高くなっております。



2023年1月期（第2四半期）



2024年1月期（第2四半期）

業績予想の修正 (2024年1月期)

大型解体工事の受注により、売上高は順調に計上されますが、現時点で先行して進捗中の大型工事の利益率が、受注時の営業施策上の観点から、他の工事と比較して低いこと、また、工事受注量が増大する中、一部の工事で原価や産業廃棄物の物量等を正確に把握できず赤字となった工事があり、利益については下方修正となりました。

	修正後 業績予想 2024年1月期	前回 業績予想 2024年1月期	増減率
売上高	8,000	7,800	2.6%
営業利益	210	510	▲58.8%
経常利益	286	586	▲51.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	400	▲51.3%
1株当たり 当期純利益	22円	45円	—
1株当たり配当金	20円	20円	—
配当性向	90.7%	44.3%	—

単位: 百万円

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベストセラ株式会社

